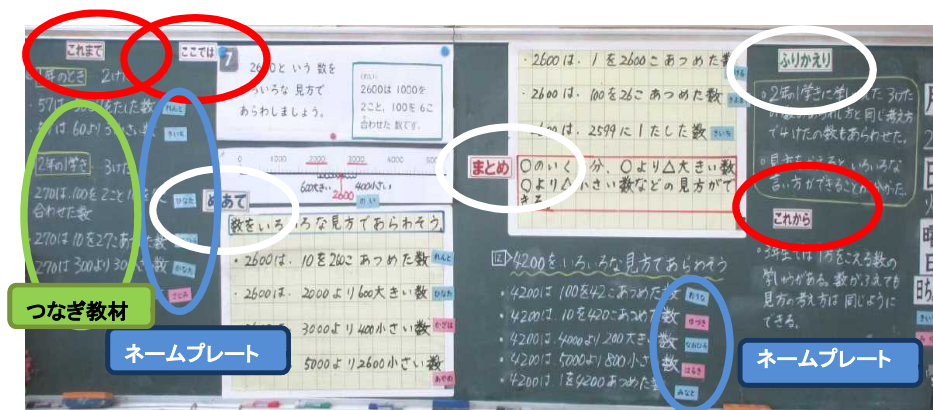
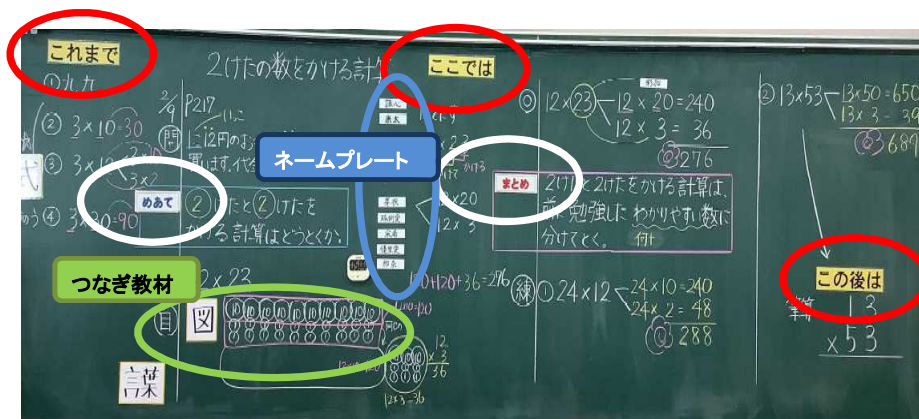


小野連携型小中一貫校における藤岡教育の授業 チェックシート

藤岡教育に則った「小野連携型小中一貫校授業スタンダード」を以下の7項目においてチェックしてください。

- ・ 授業作りの際や授業参観の際に活用してください。
- ・ 1時間の中で全てを網羅することが目的ではありません。全ては「児童生徒主体の授業」のための手段です。



- 「これまで」「ここでは」「このあとは」を踏まえて課題を解決しているか
- 授業のはじめに「めあて」の提示、授業の終わりにめあてを踏まえた「まとめ」をし、「振り返り」をしているか
- 中心部分に「つなぎ教材」を取り入れているか
 - 「本時のねらい」と「つなぎ教材」の整合性を考える
 - 「つなぎ教材」における「つなぐ要素」に視点をあてる
 - 子どもが「つなぎ教材」を活用する際の「思考の仕方」を意識する

- ・導入での学習想起場面で活用
 - ・授業中心部での課題解決場面で活用
 - ・個人差に応じた適切な提示方法の工夫 等
- 複線型指導で、できた子どもを待たせていないか
- 考えの整理に、板書とノートとICTを効果的に活用しているか

- 生徒指導の3機能(自己決定・自己存在感・共感的人間関係)で児童生徒の意欲を高めているか

ネームプレートの活用

 - 自己決定 「課題を解決する大事な場面で、自分で考えて決める」
 - ・自分の考えをもつ場面、思考する場面を設定する
 - ・根拠をはっきりさせることで、自分の考えをしっかりと決めさせる
 - 自己存在感 「一人一人が認められ、活躍できる」
 - ・学ぶ楽しさや達成感を味わわせるために、認め励ます言葉がけを多くする
 - ・事前に指名を計画するなどして、授業の中で子どもを生かす
 - 共感的人間関係 「互いに認め合い、共に努力する」
 - ・相互評価など、お互いのよさを認め合う場面を取り入れる
 - ・教師が導くだけでなく、児童生徒の発言をつなげ、学び合いや交流の場を意図的につくる
- 一人1台端末を有効に活用しているか
 - 本時のねらい、発達段階、学習内容等を考慮し、活用が有効な場面において、一人1台端末を積極的に活用する